

11. 都市勤労青年教育振興協議会

(1) 趣旨

都市における勤労青年の増加にともない、勤労青年がそれぞれの職場で安定した社会人、職業人としての資質の向上をはかるための教育は、未だふじゅうぶんの状態である。これらの点にかんがみ都市における青年の動態、意識を把握して、関係機関団体、企業等の代表が緊密なる連携のもとに勤労青年教育について協議し、その指導方針、計画を樹立して、都市青年の健全育成に資する。

(2) 基本方針

- ① 都市化と就業構造の変動に伴う青年教育の総合的組織化。
- ② 後期中等教育拡充との連携。
- ③ 一般行政との連絡協議。
- ④ 企業内教育関係機関団体との連携。

(3) 事業

- ① 勤労青年教育指導方針の確立。
- ② 総合的的青年教育計画の樹立。
- ③ 教育機会の提供と施設設備の充実。
- ④ 団体・グループの育成。
- ⑤ 都市勤労青年生活意識、動態についての調査。

(4) 協議会委員

氏名	役職名	住所
遠藤 栄	福島県立相馬農業高校長	原町市高字大豆塚内66
遠藤七兵衛	原町市役所総務部長	〃 馬場字下中内38
加藤 好治	原町青年会議所理事長	〃 北新田字本町 236
古小高三夫	原町経営者協会会長	〃 南町1の188
野崎 静雄	原町市教育委員会指導課長	〃 旭町2の43
林 正	原町市教育委員会教育長	〃 大原字清水86
村上 靖一	原町市連合青年会長	〃 下太田字川内迫 452
横田 一郎	原町市役所農政課長	〃 小川町 479
横田 太郎	原町商工会議所専務理事	〃 東川3-32
渡辺 英雄	原町市役所商工観光課長	〃 信田沢字中屋舗 162

(5) 講師

「青年の生活意識」福島大学教育学部教授 古旗 安好

(6) 期日・会場

- ① 昭和45年11月6日(金) 原町市役所会議室
- ② 昭和46年1月14日(木) 原町市役所会議室

(7) 効果

指定第1年次にあたり2年間にわたる協議会の計画を樹立し、講師の青年についての科学的分析に基づく問題指摘をもととして、原町市の都市青年教育の現状と課題について協議した。委員の熱心な協議により、具体的な振興策が立てられ、ねらいとする青少年教育の総合化や連携が図れたことは大きな成果であった。第2年次は青年や企業主の意識調査や企業者との懇談が計画され、さいごに都市勤労青年の教育振興に関する総合的意見や施策がまとまり、関係者に意見具申する計画であるのでその効果が期待される。

12. 青少年教育指導員の設置

(1) 趣旨

青少年教育の振興充実をはかるため、市町村における青少年教育の企画立案、実際指導ならびに青少年団体の健全育成の指導にあたり、もって本県青少年教育の振興に資す

る。

(2) 任務

青少年教育指導員は市町村教育委員会、公民館、社会教育関係団体の求めに応じ、つきにかかげる事項について指導助言にあたる。

- ① 青少年団体の運営および活動に関すること。
- ② 青少年の学習活動に関すること。
- ③ その他青少年教育の振興に関すること。

(3) 昭和45年度青少年教育指導員

教育事務所	担当地区	氏名	住所
県北	信夫	高橋 定	福島市飯坂町字十綱町9
	伊達	八島 博正	伊達郡国見町大字山崎字中川前
	安達	松坂 忠寿	二本松市若宮一丁目 273
県中	郡山	菊地賢太郎	郡山市虎丸町24-5
	岩瀬	佐藤 三郎	須賀川市北町20
	石川	穂積 安光	石川郡石川町新町25
	田村	川又 恒一	田村郡三春町字中町3
県南	西白河	満山 喜和	西白河郡大信村大字隈戸字仙久内屋敷12
	東白川	坂田 正次	東白川郡棚倉町大字棚倉字町裏79
会津	北会津	佐藤 庄助	会津若松市花春町2-6
	耶麻	山口 彰一	耶麻郡熱塩加納村大字加納字藤原甲1,534
	両沼	元木 喬	大沼郡会津高田町大字旭字寺入漆原1,436
南会津	南会津	二宮 佐吉	南会津郡下郷町大字松川字大座相乙916
いわき	いわき	岡田 敏	いわき市常磐上湯長谷町堀ノ内75
相双	双葉	石井 卓	双葉郡富岡町毛萱字前川原7
	相馬	島 義重	相馬市山上須萱35

(4) 効果

県教委の主催事業の趣旨や成果の波及につとめ、市町村教委の青少年行政や施策のよき助言者として活動しており、青少年団体の相談役として信頼されて活躍し、効果を上げているので、青少年教育の振興上、その活動が期待される。

13. 全国青年学級生大会

(1) 全国の青年学級生代表が共同生活をとおして、研修、交歓を行なうとともに、その連絡つけいをはかり、もって勤労青年教育の振興に役立てる。

(2) 主催

文部省、全国青年学級振興協議会、静岡県教育委員会。

(3) 期日

昭和45年9月19日～21日

(4) 会場

静岡県御殿場、国立中央青年の家。

(5) 参加者 (学級生)

いわき市 福田茂光
会津坂下 佐藤初子
福島市 佐藤照夫

(6) 研究方法

① 情報交換・研究協議

ア. 主題「青年と学習」

- ㉞ 何を学習しているか。
- ㉟ どのように学習しているか。
- ㊱ 学習の成果をどう生かしているか。